

物価高のなか 生活できる賃金を

—最賃引上げに関する要求書を提出—



ひろしま

郵政産業労働者
ユニオン広島支部
(広島郵便局内)



広島地方最低賃金審議会は先日、広島県の最低賃金を40円引き上げて970円にするよう、広島労働局長に答申しました。
全国平均は43円増えて初めて1004円になりました。しかし、全国の最低賃金の地域格差は220円で昨年よりさらに広がっています。

時給制契約社員の最低賃金 引き上げに関する要求書【抜粋】

- 1 郵政で働く時給制契約社員の最低賃金を時給1500円以上の全国一律制とするよう制度を見直すこと
- 2 現行の郵政最低賃金制度の下で生じる地域間格差を是正するため、郵政最賃は今年度の全国加重平均1004円以上とすること
- 3 郵政グループ各社統一の「企業内最低賃金」で、地域別最賃にプラスされる加算額20円を100円に引上げる制度改正をおこなうこと

郵政最低賃金は、毎年10月に改定される地域別最賃を10円単位で切り上げ、20円プラスした額が郵政グループ各社統一の「企業内最賃」となっています。
全国加重平均で1004円となったとはいえ、到底、今の異常な物価高に追いつく額とは言えません。

本部は8月31日、日本郵政グループ各社に対し、「時給制契約社員の最低賃金引上げに関する要求書」を提出し、時給制契約社員の厳しい生活を直視し、地域間格差是正と全国どこでも8時間働けば人間らしく生活できる賃金をめざし、今後も精力的に交渉を行っていきます。

郵政ユニオン広島支部の組合事務室を獲得しよう! 会社は組合事務室を貸与せよ!